

平成29年度 事前評価実施地区一覧表

近畿中国森林管理局

(1) 国有林直轄治山事業

整理 番号	都道 府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 B	総費用 C	分析結果 B/C	チェックリスト																			
									I 必須事項					II 優先配慮事項														
														1 有効性			2 効 率 性	3 事業の実施環境等										
									1	2	3	4	5	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	(4)					(5)		
					①	②	③	④	⑤	①	②	③																
1	石川県	石川森林管理署	防災林造成事業	安宅林	アタカバヤシ	255,918	45,400	5.64	○	○	○	○	○	—	—	A	B	A	—	A	A	B	—	—	B	A	B	C
2	福井県	福井森林管理署	復旧治山事業	足羽川	アスワガワ	24,974	21,153	1.18	○	○	○	○	○	A	B	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	A	A	B
3	福井県	福井森林管理署	予防治山事業	天筒山	テツツヤマ	55,696	22,115	2.55	○	○	○	○	○	B	—	A	B	A	B	—	A	A	A	—	—	B	—	A
4	福井県	福井森林管理署	保安林整備事業	湯の谷ほか1	ユノタニ	273,632	40,383	6.78	○	○	○	○	○	B	B	A	B	A	A	A	B	B	A	A	—	A	—	C
5	福井県	福井森林管理署	保安林整備事業	足羽川支流ほか3	アスワカワシリュウ	24,529	13,461	1.82	○	○	○	○	○	B	B	A	B	A	A	A	A	B	A	B	—	A	—	C
6	三重県	三重森林管理署	保安林整備事業	堂倉	ドウクラ	20,867	1,921	10.86	○	○	○	○	○	B	A	B	B	B	A	A	B	B	B	A	—	A	A	C
7	三重県	三重森林管理署	保安林整備事業	中の谷川	ナカノタニカワ	152,003	19,230	7.90	○	○	○	○	○	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	C	—	A	—	C
8	三重県	三重森林管理署	保安林整備事業	栃山	トチヤマ	530,719	59,613	8.90	○	○	○	○	○	B	A	B	B	B	A	A	A	B	C	A	—	A	—	C
9	滋賀県	滋賀森林管理署	復旧治山事業	追分西谷	オイワケニシダニ	127,222	24,038	5.29	○	○	○	○	○	B	—	B	B	A	A	—	A	B	A	—	A	B	—	B
10	滋賀県	滋賀森林管理署	保安林整備事業	猪足谷	イノアシダニ	71,321	9,615	7.42	○	○	○	○	○	B	A	A	B	A	A	A	B	B	B	B	—	A	—	B
11	滋賀県	滋賀森林管理署	保安林整備事業	北坂山	キタサカヤマ	9,003	673	13.38	○	○	○	○	○	B	B	B	B	A	A	A	A	B	B	C	—	A	—	B
12	奈良県	奈良森林管理事務所	復旧治山事業	寺尾谷川	テラオタニカワ	95,878	80,436	1.19	○	○	○	○	○	B	A	A	A	B	A	B	A	B	A	A	A	B	A	C
13	奈良県	奈良森林管理事務所	保安林整備事業	登り尾	ノボリオ	3,435	1,442	2.38	○	○	○	○	○	B	A	A	B	B	A	A	A	B	C	C	—	A	B	C
14	和歌山県	和歌山森林管理署	防災林造成事業	大浜東	オオハマヒガシ	76,842	9,688	7.93	○	○	○	○	○	—	—	A	B	A	—	A	A	B	—	—	B	A	—	B
15	和歌山県	和歌山森林管理署	保安林整備事業	権現山	ゴンゲンヤマ	28,488	3,231	8.89	○	○	○	○	○	A	B	A	B	A	—	A	A	A	A	B	—	A	A	A
16	和歌山県	和歌山森林管理署	保安林整備事業	市老谷	イチロウタニ	336,666	19,230	17.51	○	○	○	○	○	B	A	B	B	B	A	A	A	B	C	C	—	A	A	C
17	島根県	島根森林管理署	保安林整備事業	道小	ミチコ	11,936	1,731	6.90	○	○	○	○	○	B	B	B	B	B	A	A	A	B	C	C	—	A	B	C
18	島根県	島根森林管理署	保安林整備事業	大江高山	オオエタカヤマ	101,160	17,403	5.81	○	○	○	○	○	B	B	B	B	B	A	A	A	B	C	C	—	A	B	C
19	岡山県	岡山森林管理署	保安林整備事業	坪野山	ツボノヤマ	72,485	10,000	7.25	○	○	○	○	○	B	A	B	B	B	A	A	A	B	C	A	—	A	A	C
20	広島県	広島森林管理署	復旧治山事業	宇品山	ウジナヤマ	44,726	14,423	3.10	○	○	○	○	○	B	—	B	B	A	B	—	A	B	A	—	—	B	—	B
21	山口県	山口森林管理事務所	復旧治山事業	本浦	ホンウラ	46,691	15,384	3.04	○	○	○	○	○	B	—	B	B	A	B	—	A	A	A	—	—	A	—	B
22	山口県	山口森林管理事務所	保安林整備事業	大戻峽	オオモドリキョウ	64,381	8,798	7.32	○	○	○	○	○	B	B	B	B	B	A	A	A	B	C	C	—	A	—	C

事前評価個表

事業名	防災林造成事業	事業計画期間	平成30年度～平成32年度
事業実施地区名 (都道府県名)	あとかばやし 安宅林 石川県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署
事業の概要・目的	<p>安宅林地区は、九頭竜川流域の日本海に隣接しており、石川県小松市西部に位置する安宅林国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、隣接する集落を守る防風保安林として機能しているが、海岸線の林縁部でクロマツが老齢化しており、潮害、松食い虫被害とあいまって、樹勢が低下し防風機能が低下している状況にある。</p> <p>また、外来種の侵入により後継樹の生育が阻害されており、今後は防風機能の効果的な発揮を阻害するおそれがある。</p> <p>このため、本数調整伐や刈り出し、植栽工等により森林の防風機能の効果を適切に発揮できる林分へ移行させることが必要である。</p> <p>安宅林国有林は、史跡「安宅の関」や林内の地元住民の利用も多く地元小松市からも、森林整備の要望も強いことから早期に事業着手する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：本数調整伐、刈り出し ・主な保全対象：人家 ・総事業費 49,000 (千円) 		
費用便益分析	<p>総便益 (B) 255,918 (千円)</p> <p>総費用 (C) 45,400 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 5.64</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：防風保安林の機能を発揮することにより、人家等が保全されることから必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、防災林が造成され保安林機能の発揮が見込まれることから有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：防災林造成事業
施行箇所：安宅林

都道府県名：石川
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
環境保全便益	飛砂軽減便益	127,959	
	風害軽減便益	127,959	
総 便 益 (B)		255,918	
総 費 用 (C)		45,400	
費用便益比	$B \div C = \frac{255,918}{45,400} = 5.64$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あすわがわ 足羽川 福井県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>足羽川地区は、九頭竜川流域の九頭竜川上流に位置し、福井県今立郡池田町南部に位置する冠山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、平成24年の集中豪雨に伴い発生した山腹崩壊地である。崩壊地上部は、併用林道に近接しており崩壊の拡大が進めば、併用林道に被害を与える恐れが極めて高い箇所である。</p> <p>このため、地元の池田町からも、国道の代替機能を果たす重要路線であることから、早期の普及の要望も出されている。</p> <p>山腹工を実施することにより、崩壊の拡大を未然に防止し、保安林機能を回復させることで、上部に位置する併用林道の保全も図る計画である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：山腹工 ・ 主な保全対象：林道 ・ 総事業費 22,000（千円） 		
費用便益分析	<p>総便益（B） 24,974（千円）</p> <p>総費用（C） 21,153（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 1.18</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：山腹崩壊地を放置すれば、上部に位置する保全対象の併用林道に被害を与える恐れが高く、事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、山腹崩壊斜面の安定が図られ機能の発揮が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：足羽川

都道府県名：福井
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,862	
	流域貯水便益	665	
	水質浄化便益	1,418	
山地保全便益	土砂流出防止便益	19,029	
総 便 益 (B)		24,974	
総 費 用 (C)		21,153	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,974}{21,153} = 1.18$		

事前評価個表

事業名	予防治山事業		事業計画期間	平成30年度～平成31年度
事業実施地区名 (都道府県名)	てづつやま 天筒山 福井県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>天筒山地区は、由良川流域の黒河川下流に位置し、福井県敦賀市中部に位置する天筒山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、平成28年度に人家へ落石被害があった箇所である。山腹斜面には落石の発生源となる転石が露出している状況であり、山腹斜面と人家、国道は極めて隣接していることから、落石が発生した際には被害を与える可能性が危惧されている。</p> <p>このため、山腹斜面の保護、転石発生の抑止の山腹工を実施することにより、落石等による保全対象への被害を未然に防ぐ計画である。 直下にある、人家等からも落石対策の要望もあり、早急な実施が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：山腹工 ・主な保全対象：人家、国道、市道 ・総事業費 23,000 (千円) 			
費用便益分析	総便益 (B)		55,696 (千円)	
	総費用 (C)		22,115 (千円)	
	分析結果 (B/C)		2.55	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：山腹斜面には落石源となる転石があり、保全対象とも極めて近いことから必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、山腹斜面の安定が図られ、落石防止効果が発揮される事から有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：予防治山事業
施行箇所：天筒山

都道府県名：福井
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	55,696	
総 便 益 (B)		55,696	
総 費 用 (C)		21,820	
費用便益比	$B \div C = \frac{55,696}{21,820} = 2.55$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ゆのたに 湯の谷ほか1 福井県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>湯の谷ほか1地区は、九頭竜川流域の上流に位置し、福井県大野市北部に位置する経ヶ岳国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、植栽した人工林が過密となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱で、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。また、当該計画箇所周辺は、熊剥ぎや鹿等による樹皮剥離被害等の獣害による被害が多く発生している。</p> <p>このため、上層木の本数を調整し下層植生の健全な生育空間と光環境を確保するため本数調整伐を実施するとともに、植栽木又は下層植生等の健全な生育を阻害する獣害の物理的防護として獣害対策テープ巻きを行い、獣類の踏み荒らしによる土層の破壊や移動を防ぐため丸太筋工を施工し、森林の持つ水源涵養等の保安林機能を高めるため事業を計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：本数調整伐、獣害対策テープ巻き ・主な保全対象：林道 ・総事業費 42,000（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		273,632（千円）	
	総費用（C）		40,383（千円）	
	分析結果（B/C）		6.78	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：現状を放置すれば、獣害等の影響により立木の枯損を招き森林荒廃が進み土砂流出の危険性が高まるため、当該事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれるため有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：湯の谷ほか1

都道府県名：福井
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	46,870	
	水質浄化便益	101,676	
山地保全便益	土砂流出防止便益	125,086	
総 便 益 (B)		273,632	
総 費 用 (C)		40,383	
費用便益比	$B \div C = \frac{273,632}{40,383} = 6.78$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あすわかわりりゅう 足羽川支流ほか3 福井県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>足羽川支流ほか3地区は、九頭竜川流域の上流に位置し、福井県今立郡池田町南部に位置する冠山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、植栽した人工林が過密となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱で、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。また、当該計画箇所周辺は、熊剥ぎや鹿等による樹皮剥離被害等の獣害による被害が多く発生している。</p> <p>このため、上層木の本数を調整し下層植生の健全な生育空間と光環境を確保するため本数調整伐を実施するとともに、植栽木又は下層植生等の健全な生育を阻害する獣害の物理的防護として獣害対策テープ巻きを行い、獣類の踏み荒らしによる土層の破壊や移動を防ぐため丸太筋工を施工し、森林の持つ水源涵養等の保安林機能を高めるため事業を計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、獣害対策テープ巻き ・ 主な保全対象：林道 ・ 総事業費 14,000（千円） 			
費用便益分析	<p>総便益（B） 24,529（千円）</p> <p>総費用（C） 13,461（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 1.82</p>			
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：現状を放置すれば、獣害等の影響により立木の枯損を招き森林荒廃が進み土砂流出の危険性が高まるため、当該事業の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれるため有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：足羽川支流ほか3

都道府県名：福井
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	4,428	
	水質浄化便益	9,306	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,795	
総 便 益 (B)		24,529	
総 費 用 (C)		13,461	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,529}{13,461} = 1.82$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）						
事業実施地区名 （都道府県名）	どうくら 堂倉 三重県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署						
事業の概要・目的	<p>堂倉地区は、宮川流域の宮川上流に位置し三重県多気郡大台町の西方に位置する大杉谷国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は植栽した人工林が過密状態となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱なことから、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し林内照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を目的に事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：林道、発電所 ・ 総事業費 1,998（千円） 									
費用便益分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">20,867（千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">1,921（千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">10.86</td> </tr> </table>				総便益（B）	20,867（千円）	総費用（C）	1,921（千円）	分析結果（B／C）	10.86
総便益（B）	20,867（千円）									
総費用（C）	1,921（千円）									
分析結果（B／C）	10.86									
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 									

様式1

便 益 集 計 表 (治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：堂倉

都道府県名：三重
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	4,283	
	水質浄化便益	9,518	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,066	
総 便 益 (B)		20,867	
総 費 用 (C)		1,921	
費用便益比	$B \div C = \frac{20,867}{1,921} = 10.86$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	なかのたにかわ 中の谷川 三重県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>中の谷川地区は、宮川流域の櫛田川上流に位置し三重県松阪市の西方に位置する大名倉国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区では、樹冠が鬱閉し下層植生が衰退しているため、降雨等により表土が流出し、水源かん養保安林の機能が低下していることから、今後の豪雨により山腹崩壊の発生が懸念される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し、林内の照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養の保安林機能の高度発揮を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：林道 ・ 総事業費 20,000（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		152,003（千円）	
	総費用（C）		19,230（千円）	
	分析結果（B/C）		7.90	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：当地区の現況から、放置すれば林地荒廃による土砂流出が発生する恐れが高いことから事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：中の谷川

都道府県名：三重
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	24,136	
	水質浄化便益	54,452	
山地保全便益	土砂流出防止便益	73,415	
総 便 益 (B)		152,003	
総 費 用 (C)		19,230	
費用便益比	$B \div C = \frac{152,003}{19,230} = 7.90$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	とちやま 栃山 三重県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>栃山地区は、熊野川流域の赤羽川上流に位置し三重県北牟婁郡紀北町の北西に位置する鍛冶屋又国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、樹冠が鬱閉し下層植生が衰退しているため、降雨等により表土が流出し、水源かん養の保安林機能が損なわれているうえ、今後の豪雨により山腹崩壊の発生が懸念される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し、林内の照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：林道 ・ 総事業費 62,000（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		530,719（千円）	
	総費用（C）		59,613（千円）	
	分析結果（B/C）		8.90	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：当地区の現況から、放置すれば林地荒廃による土砂流出が発生する恐れが高いことから事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：栃山

都道府県名：三重
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	94,761	
	水質浄化便益	207,197	
山地保全便益	土砂流出防止便益	228,761	
総 便 益 (B)		530,719	
総 費 用 (C)		59,613	
費用便益比	$B \div C = \frac{530,719}{59,613} = 8.90$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おいわけにしだに 追分西谷 滋賀県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>追分西谷地区は、淀川流域の琵琶湖南部に位置し、滋賀県大津市中部に位置する追分国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、平成25年9月の台風18号の影響により、山腹崩壊が発生した箇所であり、災害時には人家、寺院、鉄道及び国道への被害が発生した箇所である。</p> <p>このため、今後の降雨等により、拡大崩壊の危険性があり、直下の保全対象へ与える影響も極めて高いため、早急な治山対策（山腹工）が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：山腹工 ・主な保全対象：人家、国道、鉄道 ・総事業費 25,000（千円） 		
費用便益分析	<p>総便益（B） 127,222（千円）</p> <p>総費用（C） 24,038（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 5.29</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：今後の豪雨等により拡大崩壊の危険性があり、直下に位置する人家等へ被害を及ぼす恐れがあることから、当事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果から、十分な効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、山腹斜面の安定図られ、保安林機能の向上が見込まれることから有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：追分西谷

都道府県名：滋賀
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	127,222	
総 便 益 (B)		127,222	
総 費 用 (C)		24,038	
費用便益比	$B \div C = \frac{127,222}{24,038} = 5.29$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いのあしだに 猪足谷 滋賀県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>猪足谷地区は、淀川流域の野洲川上流に位置し滋賀県甲賀市西部に所在する大河原国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、地形は急峻で植栽した人工林が過密状態となっており、光環境の不足等により下層植生の衰退が進行している状態にある。</p> <p>このまま放置すれば集中豪雨等の影響により土砂流出等の危険性があることから、保安林機能の維持向上を図り、災害に強い森林を形成するため、早急な治山対策（本数調整伐等）が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：林道 ・ 総事業費 10,000（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		71,321（千円）	
	総費用（C）		9,615（千円）	
	分析結果（B/C）		7.42	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性があり、水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：猪足谷

都道府県名：滋賀
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	9,559	
	水質浄化便益	25,186	
山地保全便益	土砂流出防止便益	36,576	
総 便 益 (B)		71,321	
総 費 用 (C)		9,615	
費用便益比	$B \div C = \frac{71,321}{9,615} = 7.42$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）						
事業実施地区名 （都道府県名）	きたさかやま 北坂山 滋賀県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署						
事業の概要・目的	<p>北坂山地区は、淀川流域の琵琶湖西岸に位置し滋賀県大津市北部に所在する北坂山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、地形は急峻で植栽した人工林が過密状態となっており、光環境の不足等により下層植生の衰退が進行している状態にある。</p> <p>このまま放置すれば集中豪雨等の影響により土砂流出等の危険性があることから、保安林機能の維持向上を図り、災害に強い森林を形成するため、早急な治山対策（本数調整伐等）が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐 ・ 主な保全対象：国道、鉄道 ・ 総事業費 700（千円） 									
費用便益分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総 便 益（B）</td> <td style="text-align: right;">9,003（千円）</td> </tr> <tr> <td>総 費 用（C）</td> <td style="text-align: right;">673（千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">13.38</td> </tr> </table>				総 便 益（B）	9,003（千円）	総 費 用（C）	673（千円）	分析結果（B／C）	13.38
総 便 益（B）	9,003（千円）									
総 費 用（C）	673（千円）									
分析結果（B／C）	13.38									
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性があり、水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 									

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：北坂山

都道府県名：滋賀
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	1,341	
	水質浄化便益	3,234	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,428	
総 便 益 (B)		9,003	
総 費 用 (C)		673	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,003}{673} = 13.38$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成31年度
事業実施地区名 (都道府県名)	てらおたにかわ 寺尾谷川 奈良県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>寺尾谷川地区は、紀ノ川流域の紀ノ川中流に位置し奈良県吉野郡大淀町に位置する高取山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、平成29年10月の台風21号による豪雨により、山腹崩壊が発生し上部を通る高取山林道に被害を及ぼした。 さらには、崩壊により流出した土砂及び崩壊によって生じた倒木等が下流にある民有林作業道にも被害を及ぼした箇所である。</p> <p>現在も崩壊地及び溪流には不安定土砂及び多数の倒木等が堆積しており、今後豪雨等により流出する恐れが非常に高い。土砂及び倒木等が流出すれば、下流域に所在する西増地区集落、農業用水路等に大きな被害をもたらす恐れが高いことから早急な復旧対策が必要な箇所である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：溪間工、山腹工 ・主な保全対象：人家 林業用作業道 農業用水路等 ・総事業費 85,000 (千円) 		
費用便益分析	<p>総便益 (B) 95,878 (千円)</p> <p>総費用 (C) 80,436 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 1.19</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：今後の豪雨等により拡大崩壊の危険性があり、直下に位置する保全対象へ被害を及ぼす恐れがあることから、保安林機能発揮による流域保全等、当事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析結果から、十分な効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、山腹斜面の安定及び林床植生の回復が図られ、保安林機能の維持向上が見込まれることから有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：寺尾谷川

都道府県名：奈良
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,272	
	流域貯水便益	418	
	水質浄化便益	972	
災害防止便益	山地災害防止便益	91,216	
総 便 益 (B)		95,878	
総 費 用 (C)		80,436	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{95,878}{80,436} = 1.19$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	のぼりお 登り尾 奈良県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>登り尾地区は、紀ノ川流域の吉野川上流に位置し、奈良県吉野郡川上村東部に位置する登り尾国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、スギ・ヒノキからなる一斉単層林で、脆弱な地質もあり生育が不良で過密となっており、下層植生が乏しく表土流出等による林地荒廃の恐れが危惧される箇所である。</p> <p>このため、本数調整伐による植栽木の生長の促進及び下層植生の導入を行うと共に、表土流出の恐れのある箇所については、丸太筋工を施工する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：人家、林道 ・ 総事業費 1,500（千円） 		
費用便益分析	総便益（B）	3,435（千円）	
	総費用（C）	1,442（千円）	
	分析結果（B/C）	2.38	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の集中豪雨等により土砂流出の危険がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当該事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：登り尾

都道府県名：奈良
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	456	
	水質浄化便益	1,042	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,937	
総 便 益 (B)		3,435	
総 費 用 (C)		1,442	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{3,435}{1,442} = 2.38$		

事前評価個表

事業名	防災林造成事業	事業計画期間	平成30年度～平成39年度
事業実施地区名 (都道府県名)	おおはまひがし 大浜東 和歌山県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>大浜東地区は、熊野川流域の熊野灘沿岸部に位置し、和歌山県新宮市南西部に位置する大浜国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、クロマツの幼樹が生育しているものの、周辺植生の生長が旺盛なため被圧され、生育が阻害されている状況であり、また一部においては枯損もみられる状況にある。</p> <p>このため、クロマツの下刈、刈り出しにより生長を促すとともに、枯損し裸地化した箇所においては補植を実施し、保安林機能の維持及び強化を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：下刈、植栽工 ・主な保全対象：人家、国道 ・総事業費 12,000 (千円) 		
費用便益分析	総便益 (B)	76,842 (千円)	
	総費用 (C)	9,688 (千円)	
	分析結果 (B/C)	7.93	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：海岸林の生長が阻害されれば、風害防止機能が低下し保全対象への影響が大きいため、事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、植栽木の生長が促され風害防止機能の発揮が見込まれることから有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：防災林造成事業
施行箇所：大浜東

都道府県名：和歌山
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
環境保全便益	飛砂軽減便益	38,421	
	風害軽減便益	38,421	
総 便 益 (B)		76,842	
総 費 用 (C)		9,688	
費用便益比	$B \div C = \frac{76,842}{9,688} = 7.93$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成30年度～平成38年度
事業実施地区名 (都道府県名)	ごんげんやま 権現山 和歌山県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>権現山地区は、熊野川流域の下流に位置し、和歌山県新宮市中心部に位置する権現山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区では、平成23年の台風被害により林地崩壊が発生し、復旧工事を実施した箇所である。 工事による植栽木が動物による食害により衰退しており、森林への移行が阻害され保安林機能の低下している状況にある。</p> <p>このため、植栽工及び獣害防止対策工を実施することにより、森林への移行を促し、水源涵養機能等の保安林機能の回復を目指す必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：植栽工、獣害防止対策工 ・主な保全対象：人家 ・総事業費 3,460 (千円) 		
費用便益分析	<p>総便益 (B) 28,488 (千円)</p> <p>総費用 (C) 3,231 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 8.82</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：現状を放置すれば、森林への移行は困難であり、保安林機能の発揮が期待出来ないことから、早期に事業実施する必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、植栽木の活着が図られ、森林に移行することから、水源涵養機能の発揮が見込まれ、有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：権現山

都道府県名：和歌山
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	637	
	水質浄化便益	1,984	
災害防止便益	山地災害防止便益	25,867	
総 便 益 (B)		28,488	
総 費 用 (C)		3,231	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,488}{3,231} = 8.82$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成30年度～平成31年度						
事業実施地区名 (都道府県名)	いちろうたに 市老谷 和歌山県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署						
事業の概要・目的	<p>市老谷地区は、熊野川流域の熊野川上流に位置し、和歌山県東牟婁郡北山村の市老谷国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区では、植栽木が過密になっており、樹冠が鬱閉し下層植生の衰退しているため、保安林機能が低下している状況にある。</p> <p>また、下層植生が衰退した現状で推移した場合、山腹表面の土砂流出により崩壊等の危険性も危惧される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し、林内の照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養機能の発揮を目的に事業を実施する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・主な保全対象：人家、ダム ・総事業費 20,000 (千円) 								
費用便益分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益 (B)</td> <td style="text-align: right;">336,666 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td style="text-align: right;">19,230 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">17.51</td> </tr> </table>			総便益 (B)	336,666 (千円)	総費用 (C)	19,230 (千円)	分析結果 (B/C)	17.51
総便益 (B)	336,666 (千円)								
総費用 (C)	19,230 (千円)								
分析結果 (B/C)	17.51								
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/								
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性があり、水土保持機能の発揮による下流域の保全等、事業実施の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水源涵養機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 								

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：市老谷

都道府県名：和歌山
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	57,426	
	水質浄化便益	140,404	
山地保全便益	土砂流出防止便益	133,800	
総 便 益 (B)		331,630	
総 費 用 (C)		18,950	
費用便益比	$B \div C = \frac{331,630}{18,950} = 17.50$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	みちこ 道小 島根県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>道小地区は、江の川流域の江の川上流に位置し、島根県邑智郡邑南町に位置する道小国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、植栽した人工林が過密状態となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱なことから、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し林内照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を目的に事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：町道 ・ 総事業費 1,800（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		11,936（千円）	
	総費用（C）		1,731（千円）	
	分析結果（B/C）		6.90	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：道小

都道府県名：島根
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	1,839	
	水質浄化便益	3,960	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,137	
総 便 益 (B)		11,936	
総 費 用 (C)		1,731	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,936}{1,731} = 6.90$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおえたかやま 大江高山 島根県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>大江高山地区は、江の川流域の江の川中流に位置し、島根県大田市に位置する大江高山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は植栽した人工林が過密状態となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱なことから、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し林内照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を目的に事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：町道 ・ 総事業費 18,100（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		101,160（千円）	
	総費用（C）		17,403（千円）	
	分析結果（B/C）		5.81	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：大江高山

都道府県名：島根
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	15,017	
	水質浄化便益	32,229	
山地保全便益	土砂流出防止便益	53,914	
総 便 益 (B)		101,160	
総 費 用 (C)		17,403	
費用便益比	$B \div C = \frac{101,160}{17,403} = 5.81$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	つぼのやま 坪野山 岡山県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>坪野山地区は、高梁・吉井川流域の成羽川上流に位置し岡山県高梁市備中町に位置する坪野山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、植栽した人工林が過密化し、被圧され立枯れる植栽木などがあり、下層植生も貧弱又はほとんどなく一部では表土が流出しているなど、水土保持機能が著しく低下している。</p> <p>このため、今後の台風や集中豪雨により表土流出による崩壊等の発生が懸念されることから、本数調整伐、丸太筋工を施工することにより、下層植生の生育を促進し、森林の持つ水源涵養、山地災害防止機能などの増進を図る目的に事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：ダム ・ 総事業費 10,400（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		72,485（千円）	
	総費用（C）		10,000（千円）	
	分析結果（B/C）		7.25	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：坪野山

都道府県名：岡山
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	8,542	
	水質浄化便益	19,477	
山地保全便益	土砂流出防止便益	44,466	
総 便 益 (B)		72,485	
総 費 用 (C)		10,000	
費用便益比	$B \div C = \frac{72,485}{10,000} = 7.25$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	うじなやま 宇品山 広島県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>宇品山地区は、芦田・佐波川流域の広島湾に位置し、広島県広島市南部に位置する宇品山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、平成28年9月の豪雨により落石被害が発生し、直下にある施設に被害を与えた箇所である。 現地は、風化した花崗岩の転石が多く点在しており、崩落、落石等が度々発生している箇所である。</p> <p>このため、転石等を放置し落石が発生すれば、直下の施設等へ被害が危惧されるため、早急に落石の防止及び山腹の保護を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：山腹工 ・主な保全対象：人家、市道 ・総事業費 15,000 (千円) 		
費用便益分析	総便益 (B)	44,726 (千円)	
	総費用 (C)	14,423 (千円)	
	分析結果 (B/C)	3.10	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：風化した転石を放置すれば、今後風化が進行し落石が発生する可能性が非常に高い。国土保全機能の発揮による施工地の安定等、当該事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、落石防止効果により国土保全機能の発揮が見込まれることから有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：宇品山

都道府県名：広島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	44,726	
総 便 益 (B)		44,726	
総 費 用 (C)		14,423	
費用便益比	$B \div C = \frac{44,726}{14,423} = 3.10$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成36年度
事業実施地区名 (都道府県名)	ほんうら 本浦 山口県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>本浦地区は、芦田・佐波川流域の笠戸島に位置し、山口県周南市の南部に位置する笠戸島国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、平成28年10月の豪雨により既設特殊モルタル吹付工の一部が経年劣化により剥離したことにより、剥離部分からの落石により下部の人家に被害を与えた箇所である。</p> <p>既設特殊モルタル吹付工は、依然として経年劣化により剥離する恐れが高く、剥離した際は山腹法面から更なる落石の恐れが高い箇所である。</p> <p>このため、山腹工を施工することにより、崩壊の法面の安定をはかり保安林機能を回復させることにより、下部に位置する人家等の保全を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：山腹工 ・主な保全対象：人家、市道 ・総事業費 16,000 (千円) 		
費用便益分析	総便益 (B)	46,691 (千円)	
	総費用 (C)	15,384 (千円)	
	分析結果 (B/C)	3.04	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：山腹斜面の崩壊を放置すれば、下部の保全対象に被害を与える可能性が高いことから、事業実施の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・有効性：事業の実施により、落石防止効果により国土保全機能の発揮が見込まれることから有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：本浦

都道府県名：山口
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	46,691	
総 便 益 (B)		46,691	
総 費 用 (C)		15,384	
費用便益比	$B \div C = \frac{46,691}{15,384} = 3.04$		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業		事業計画期間	平成30年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおもどりきょう 大戻峡 山口県		事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>大戻峡地区は、芦田・佐波川流域の錦川上流に位置し、山口県岩国市北部に位置する寂地国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、植栽した人工林が過密状態となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱なことから、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し林内照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源涵養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を目的に事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工 ・ 主な保全対象：人家、林道 ・ 総事業費 9,150（千円） 			
費用便益分析	総便益（B）		64,381（千円）	
	総費用（C）		8,798（千円）	
	分析結果（B/C）		7.32	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	/			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。 ・ 有効性：事業の実施により、下層植生の繁茂を促し水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 			

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：大戻峡

都道府県名：山口
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	10,812	
	水質浄化便益	22,446	
山地保全便益	土砂流出防止便益	31,123	
総 便 益 (B)		64,381	
総 費 用 (C)		8,798	
費用便益比	$B \div C = \frac{64,381}{8,798} = 7.32$		